

マーケットの動き（2023年4月10日～4月14日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。前週末発表の米国雇用統計を受けて米国金利が上昇し、米ドルは週初から133円台後半まで買われました。その後、発表された3月の米国物価指標が相次いで市場予想を下回ったことで円高基調に傾きましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官による利上げに積極的な発言を受けて米ドルは133円台半ばで週を終えました。ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2023年4月）

米ドル、ユーロともに円に対してレンジ内での動き

インフレを巡る先行き不透明感が残るものの、金融システム不安を背景にFRB（米国連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）が金融引き締めペースを緩めるとの見方がありますが、エネルギー価格高騰を背景とした日本の貿易赤字は円安要因と考えられることから、米ドルやユーロは円に対してレンジ内での動きになるとみています。ただし、日銀の政策修正の動きは当面意識されるとみられることから、円高圧力のかかりやすい状況は続くとみています。

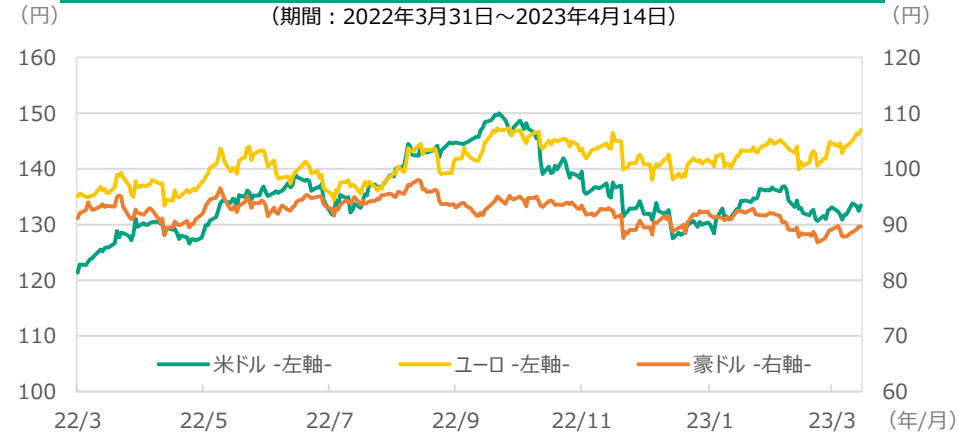
	4月14日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	133.46	1.68	▲0.84	▲14.91	7.56
ユーロ/円	146.91	2.95	2.88	2.20	11.22

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202304_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>